

科目名	産業組織論	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Industrial Organization	開講年次	□1年□2年 ■3年 □4年
ふりがな	やまもとしゆん	開講期間	■前期□後期 □通年 □集中
担当者名	山本 俊	修得単位	2単位
授業のテーマ	現代産業の多様化する市場構造が企業行動と成果に与える影響を学習する。		
授業概要			
到達目標	市場構造の特徴を明らかにし、そこでの企業間競争や政府規制、社会厚生への損失等を理解することで、将来、自らが直面するであろう企業における合理的意思決定の基礎を形成して欲しい。		
授業時間外の学習	定期的に確認問題を配布するので、解答した後に提出して欲しい。		
履修条件	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱやゲーム理論、金融機関論、経営戦略論を履修済みか、または同時履修して欲しい。		
授業計画 講義資料と教科書を併用して授業を進める。			
第1回	テーマ：産業組織論の基本概念① 「産業とは何か？ 市場とは何か？ SCP分析とは何か？」		
第2回	テーマ：産業組織論の基本概念② 「需要関数は分かるけど、逆需要関数って何？」「集中度とHHI」		
第3回	テーマ：完全競争市場と独占市場① 「厚生経済学の基本定理とは？」		
第4回	テーマ：完全競争市場と独占市場② 「2つの市場成果の違いを説明できるか？」		
第5回	テーマ：生産量決定型寡占モデル① 「まずは、基本モデルを徹底理解しよう！！」		
第6回	テーマ：生産量決定型寡占モデル② 「推測的変動とは何か？」、「市場における企業数の影響について」		
第7回	テーマ：製品差別化とクールノー均衡 「製品差別化は何をもたらすのか？」		
第8回	テーマ：企業間費用格差とマーケットシェア、市場構造と利益率		
第9回	テーマ：価格決定型寡占モデル① 「まずは、基本モデルを徹底理解しよう！！」		
第10回	テーマ：価格決定型寡占モデル② 「製品差別化と参入阻止戦略」		
第11回	テーマ：コンテストابل・マーケットと参入障壁 「完全競争市場の主な4条件を満たさなくても・・・」		
第12回	テーマ：製品差別化による競争 「立地選択、カラー選択、政党の主張は最小差別化定理で説明できる」		
第13回	テーマ：不完全情報と広告 「その広告は説得的か、それとも情報提供的か」		
第14回	テーマ：合併の経済効果 「合併によって、なぜ効率性は向上するのか？」		
第15回	テーマ：垂直的な取引制限 「再販価格維持行為は法律違反なの？」		
第16回	定期試験		
テキスト	泉田 成美・柳川隆『プラクティカル産業組織論』有斐閣アルマ、2008年		
参考文献・資料	小田切宏之『新しい産業組織論』有斐閣、2001年（実証と理論をバランスよく扱っている良書）		
成績評価の方法	期末試験60%、課題30%、コメントシート10%の合計を基に評価する。 確認問題を配布する。受講者は自らの理解度を確認するためにも必ず解答すること。 試験については努力が報われるような出題を心がける。		
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降に入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。		

オフィスアワー	月・水・金曜日の5限をオフィスアワーとする。ただし、研究室に在室中は原則として質問に応じる。
学生へのメッセージ	経営戦略論の大家である M.E.ポーターは産業組織論を応用して、経営戦略論を一変させたと言われている。このように、産業組織論は経済学を経営学に応用した実践的な分野ですので、多くの学生の履修に期待する。